学校番号	119

平成 31 年度　芸術科(書道)

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小・中学校国語科書写の学習を発展させて、毛筆と硬筆の違いや用具用材の特性を知り、多様な書の古典を学ぶことにより、書写能力の向上をめざします。
・基本的な知識や体得した技術が各自の表現や鑑賞に生かされるように、単元ごとの目標設定とふり返り(自己評価)を行い、主体的な取り組みを支援します。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけ表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	書写から書道へ	・国語科書写と芸術科書道 ・姿勢・執筆法と用具・用材	○			○	a:国語科書写と芸術科書道の関係、高等学校での書道の学習の意義に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 b:基本的な姿勢・執筆法および用具・用材の用い方を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身につけ、用具・用材を的確に用いることができる。 d:国語科書写と芸術科書道の関係、高等学校での書道の学習の意義を理解し、芸術としての「書」に関心をもち、様々な書表現を理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	硬筆	・平仮名、カタカナ、楷書	○	○			a:国語科書写の基礎的な能力を身につけ、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:国語科書写で身につけた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c:国語科書写で身につけた基礎的な技能を生かして表現している。 d:日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わっている。	観察 提出作品
	漢字の書の学習①	・漢字の変遷と様々な書体 ・楷書の古典に学ぶ ・うちわ作品の制作 ・鑑賞	○	○	○	○	a:各書体の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:楷書の各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫している。 c:楷書の各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる。 d:様々な楷書を鑑賞し、書風の違いについて理解している。 字形や用筆の特徴を理解している。古典の書美を理解し、表現技法を理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

2学期	篆刻	・自分の名前調べ(篆書等) ・姓名印の制作 (8分の白文と3分の朱文)	○		○	○	a:姓名の書体調べを通じて書体の変遷について関心をもち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:印稿づくりにおいて小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身につけ表している。 d:様々な材質の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
	漢字の書の学習②	・行書の古典に学ぶ ・色紙作品への制作 ・鑑賞		○		○	a:様々な行書を鑑賞し、書風の違いについて関心をもち、理解しようとしている。字形や用筆の特徴に関心をもっている。古典の書美と表現方法に関心をもち、意欲的に身につけようとしている。 b:各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫している。 c:各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる。 d:様々な行書を鑑賞し、書風の違いについて理解している。 字形や用筆の特徴を理解している。古典の書美を理解し、表現技法を理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ提出作品
	漢字仮名交じりの書の学習	・漢字仮名交じりの書の名筆の鑑賞 ・カレンダー作品の制作 ・鑑賞		○	○	○	a:漢字仮名交じりの書の名筆の美しさやよさを理解しようとしている。漢字仮名交じりの書の創作に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:自分の中にある作品のイメージに表現を近づけるため、紙面構成や文字の造形などを様々に工夫している。 c:自分の中にある作品のイメージに表現を近づけ、紙面構成や文字の造形などを様々に工夫して表現することができる。 d:漢字仮名交じりの書の創作の準備と手順を理解している。書き上げた作品を互いに鑑賞し合い、意見交換をすることができる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

3学期	仮名の書の学習	・仮名の基本 ・仮名の古筆に学ぶ(連綿、変体仮名、散らし書き、料紙について) ・色紙作品(自作俳句)の制作 ・鑑賞	○	○	○	○	a:仮名の美（連綿、散らし書きなど）について関心をもち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:仮名の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c:仮名の書の創作の手順を踏み、自分らしい表現をすることができる。 d:仮名の書の創作の準備と手順を理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。